

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月17日
事業名	教育普及・企画展事業	担当課・係名	生涯学習課郷土資料館
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	4
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成17年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	利用者や他施設との連携、協働による博物館活動の展開				
対象 (誰を・何を)	大磯町内外の利用者、地域情報、博物館資料				
内容	町民との協働作業を意識しワークショップ形式の事業を実施 常設展示では取り扱うことのできない分野を補うとともにさらに深く掘り下げたテーマの展示を実施				
根拠法令・条例等	大磯町郷土資料館の設置、管理等に関する条例施行規則				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,065	1,096	1,076
	国庫支出金	千円	—	—	24
	県支出金	千円	—	—	—
	起債	千円	—	—	—
	その他	千円	—	—	30
	一般財源	千円	1,065	1,096	1,022
	職員人数 (概算職員数)	人			0.90
	人件費計 (b)	千円			5,325
総事業費 (a)+(b)	千円	1,065	1,096	6,401	
事業費内訳 H 25 年度	報償費 68,000円 需用費 973,000円 役務費 25,000円 使用料及び貸借料 12,000円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 企画展入館者数	人	17,978	20,570	21,000
	② 講座参加者数	人	503	827	800
活動指標 (活動量)	① 企画展開催数	回	6	5	6
	② 講座回数	回	54	61	60
成果指標 (達成度等)	① 企画展1回当りの入館者数	人	2,996	4,114	3,500
	② 1回当りの講座参加者数	人	9	14	13

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	地域の情報を幅広く且つ深く掘り下げる機会として、常設展示では取り扱っていないテーマに着目した企画展を開催するとともに、ワークショップを開催し、利用者や他施設との連携、協働による博物館活動を行っている。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	地域の情報を幅広く且つ深く掘り下げる機会として、常設展示では取り扱っていないテーマに着目した企画展を開催するとともに、ワークショップを開催し、利用者や他施設との連携、協働による博物館活動を行っている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	資料館に蓄積されている情報を利用者や参加者と共有できる状況になっている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	短期間・少人数による遂行。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	教育普及活動及び企画展内容が不十分となり、博物館の存在意義が不安定なものになる恐れがある。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 企画展やワークショップは、その性質上、博物館に欠かせない事業であり、現状の活動環境において充実した内容であると考えているが、今後更なる発展を図りたい。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	年々、高度化・多様化する利用者の学習要求に沿った展示・講座等事業の展開
② 平成26年度に着手する事項	利用者の要求に即した事業展開の継続
③ その他（課題、調整事項等）	なし。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

企画展を5回開催予定。秋季に予定している合併60周年記念展では、関連行事として町民参加型ワークショップを開催。また、継続的に実施してきたワークショップのうち、「古文書解読クラブ」では、開催回数を増やす。
